

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理  
送信日時: 2016年1月19日火曜日 22:25  
宛先: csih@googlegroups.com  
件名: [CSIH] 【再送】中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2016年1月17日発行  
添付ファイル: ◆●中部産遺研第138定例研究会レジメ2016.1.8.docx  
フラグ: フラグあり

////////////////////////////////////  
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2016年1月17日発行【再送】 /  
////////////////////////////////////

中部産業遺産研究会第138かい定例研究会のレジメが修正されましたので、17日発行の電子メール版ニュースレターを再送いたします。  
添付ファイルは更新されております。

中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。  
【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】  
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】  
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

---

- 【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】中部産遺研 第138回例会のご案内【New】
- 【3】中部産遺研会報 第61号発行のご案内【New】
- 【4】2016年2月21日開催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回開催のご案内【再送】
- 【5】竹中大工道具館巡回展「近代建築 ものづくりの挑戦」開催のご案内【再送】
- 【6】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第41回／杉本漢三【New】

---

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

---

- 第138回例会 2016/1/24(日) 13:00～ 名城大学名駅サテライト
- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 2016/2/21(日)13:00～  
テーマ：稼働遺産とその活用  
ご案内：<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>
- 第139回例会 2016/3/20(日) 13:00～ 緑生涯学習センター 第2／3集会室
- 第24回(2016年度)総会・第140回例会 2016/05/29(日) 13:00～  
大同大学滝春校舎本館 14階交流会室

- 第 141 回例会 2016/7/24 (日)または 31(日) 13:00～ (会場未定)
- 第 142 回例会/見学会 2016/09/25(日) 13:00～ 未定
- 第 143 回例会/パネル展講演会 2016/11/27(日) 13:00～ 名古屋市都市センター予定

---

## 【2】中部産遺研第 138 回例会のご案内【New】

---

中部産遺研第 138 回例会を次の通り開催致しますのでご案内いたします。

日時：2016 年 1 月 24 日 日曜日 13:00～17:00

会場：名城大学名駅サテライト会議室

<http://www.meijo-u.ac.jp/about/access/>

KDX 名古屋駅前ビル 13 階

JR「名古屋」駅から、ユニモール地下街 4 番出口を出てすぐ

当日の内容は添付ファイルをご覧ください。

会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。

---

## 【3】中部産遺研会報 第 61 号発行のご案内【New】

---

中部産遺研会報 第 61 号を発行しましたのでご案内致します。

<http://csih.sakura.ne.jp/kaihou.html>

からダウンロードしてください。

PDF ファイルでホームページに収録されています。

---

## 【4】2016 年 2 月 21 日開催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 34 回開催のご案内【再送】

---

2016 年 2 月 21 日、トヨタ産業技術記念館において、シンポジウム「日本の技術史をみる眼」を開催致します。

テーマは「稼働遺産とその活用－新たな展開を求めて」です。

詳細、プログラム、チラシは

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

にございますので、こちらのリンクをご参照下さい。

参加申し込みはこちらから。

<http://csih.sakura.ne.jp/sympo.html>

既に参加申し込みの受付を致しておりますので、会員の皆様のご参加をぜひ、よろしくお願い致します。

また、非会員の方にもご参加頂けますので、皆様の周りにご興味のある方がおいででしたら、お誘い頂けましたらと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

---

## 【5】竹中大工道具館巡回展「近代建築 ものづくりの挑戦」開催のご案内【再送】

---

トヨタ産業技術記念館において、竹中大工道具巡回展「近代建築 ものづくりの挑戦」が開催されます。

この巡回展には、会員の水野信太郎先生も関係されています。

この企画展は、神戸市（竹中が近代的な建設業者としてスタートした都市。元来の竹中家は江戸時代から名古屋城下）にあります竹中大工道具館で今秋から始まりました。

水野信太郎先生は、手づくり（手抜き成形法）煉瓦を製造している職人さんの写真を提供されています。

【概要】

明治、大正、昭和。日本が大きく変わった時代。建築も西洋からもたらされる新しい技術でつくることが求められました。職人や技術者たちはそれに果敢に挑戦し、短期間のうちに習得して、近代化を成功させます。その過程でどのような技術革新があり、それがどのように建築を変えていったのでしょうか。建設会社や大学等に残された貴重な資料を通して、その歩みを振り返ります。

【タイトル】竹中大工道具館巡回展「近代建築 ものづくりの挑戦」

【会期】2016年1月16日（土）～4月3日（日）

【会場】特別展示室

【開館時間】9：30～17：00（入場受付は16：30まで）

【入場】無料（常設展は別途入場料が必要）

【主催】公益財団法人竹中大工道具館

【共催】トヨタ産業技術記念館

詳細は

<http://www.tcmiit.org/information/news/2015/12/4194>

をご参照下さい。

【6】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第41回／杉本漢三【New】

アラビア数字の「ゼロ」

ラテン文学のローマ字(アルファベット)は、世界中で使われているが、ローマ数字はあまり使われていなく、もっぱらアラビア数字が使われている。それはアラビア数字には「ゼロ」があるからである。

『ゼロ』は、6世紀ころにインドで発見されたが、「無」や「空」といった概念を深めたヒンズー教、仏教の国であり、この抽象化力が源泉にあったから「ゼロ」が発見されたものと言える。古代エジプトや古代ローマにも「無」という発想はあったようだが、数字の「ゼロ」は生まれなかった。I(1)から始まるローマ数字は、V(5)、X(10)、L(50)などを基本に数を表すから、99は10個の数字が並べなければならない。このように多くの数字が必要な上、位取り(桁上がり)が出来なく、何よりも「ゼロ」がないから不便である。また、アラビア語は右から左に書くが、ローマ字は左から右に書くのもインドのアラビア数字の影響からかといわれている。このアラビア数字は、12世紀ころに中世イスラム王国の西の都・コルドバを経てヨーロッパに伝来した。しかし、数学者たちはこの導入を拒絶した。足しても引いても元の数字は変わらないし、掛けると0になる「悪魔の数字」であったためであり、教会も0の使用を禁じていた。西暦は長らく「0」が無かったから西暦は1年から始まり、建物は地上を「グラウンド・フロア」といい、2階を「ファースト・フロア」(1階)と呼ぶ。ゼロ(0)が無かった日本も年齢を「数え年」で表して、生まれた時が1歳である。17世紀になって日本にもオランダ人がこの「ゼロ」を伝えた。ちなみに、日本の皇紀で、紀元2600年(昭和15年)が制定され、このとき制式化したのが「零式艦上戦闘機」、通称「ゼロ戦」である。



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様にGoogle グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail：[hidekih@wine.plala.or.jp](mailto:hidekih@wine.plala.or.jp)

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには [csih+unsubscribe@googlegroups.com](mailto:csih+unsubscribe@googlegroups.com) にメールを送信してください。

<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

# 中部産遺研 第138回公開定例研究会

2016/01/24

於：名城大学 名駅サテライト会議室 参加：( )名  
会場にプロジェクター・スクリーンは設置されている

13:00～

司会：山田 貢、記録：市野 清志

新年のあいさつ 会長

新入会員紹介

## 1. 研究報告、調査報告

[138-11-01] 「電気事業史資料の見方調べ方」

浅野伸一 (40分)

質疑5分

休憩 10分

14:00～

[138-11-02] 「日本の航空機・自動車の戦前の開発史」

杉本漢三 (30分)

質疑5分

[138-11-03] 「東ヨーロッパの産業遺産の紹介」

市野清志 (20分)

質疑5分

[138-11-04] 前回続き「ラオスへのガラ紡技術移転と産業化への可能性」再議論

天野武弘 (15分)

休憩 10分

15:30～

## 2. その他の諸報告、保存問題など

[138-21-01] 「データベース研究会」中間報告

天野武弘 (20分)

質疑5分

[138-21-02] 「 」(分) ( )

## 3. 研究誌、会報(研究会ニュースレター)

[138-31-01] 研究誌『産業遺産研究第23号』について

浅野伸一 (1分)

[138-31-02] 会報ニュースレター 電子メール版の原稿募集

橋本英樹 (1分)

## 4. シンポジウム

[138-41-01] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 報告

山田貢 (10分)

2016/02/21(日) トヨタ産業技術記念館 ホールA 12:00 受付、開始 13:00～16:45

テーマ「稼働遺産とその活用」ー新たな展開を求めてー

■基調講演「産業遺産の評価と保存ー「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録に関してー」

講師 清水憲一氏 (九州国際大学特任教授)

■講演「現役の鉄道可動橋末広橋梁」講師 若山拓也氏 (四日市市教育委員会)

■講演「未だ稼働し続けるシャトル織機」講師 成田年秀氏 (トヨタ産業技術記念館副館長・学芸員)

懇親会 (事前申込者のみ) 会場:ブリックエイジ (館内) 17:05～18:45

[138-41-02] 2016 年度パネル展と講演会「東海の綿織物・毛織物と産業遺産」(仮)

寺沢安正 (5分)

- ・第12回 2016 年度パネル展 11月22日(火)～12月4日(日) 予定 (申し込み中)
- ・パネル展講演会 2016/11/27(日) 13:00～ 名古屋市都市センター予定 (申し込み中)
- ・第1回 2015/02/07(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F

[138-41-03]

#### 5. 見学会、その他の催し物

[138-51-01] 2016/春頃:小見学会予告「岐阜県神坂風穴」(恵那山トンネル近く)案内田口憲一

参加希望者は事務局へ 自家用車での移動のため:車提供者・同乗者を

参加費 交通費相当分 詳細が決まり次第連絡します (事務局) (3分)

[138-51-02] 「定例研究会で見方調べ方や調査研究報告予定及び見学希望の用紙記入のお願い」

例会幹事 (1分)

[138-51-03] 第15回「ものづくり文化再発見!ウォーキング 高浜コース」報告 柳田哲雄 (1分)

日時 平成27年10月17日(土) 参加者数 273名

高浜市の吉浜人形・鬼瓦・渡船などに関連するスポットを巡る約8.5kmのコース。

柳田さんは、現在の半田市亀崎と高浜市田戸を結んでいた「田戸(たど)の渡し跡」を説明した。

#### 16:30～16:50

[138-51-05] 参加者からの近況報告～今取り組んでいる調査や研究及び産業遺産への思いを～

お一人3～5分以内 4～5人程

#### 6. 文献紹介、資料紹介 ( )内は紹介者

##### 【参考文献】

[138-61-01] 九州産業考古学会会報 NO.23 2015.11.11 (事務局)

[138-61-02]

##### 【参考資料】

[138-62-01] 演劇紹介「市民劇 ひとすじの糸」2/12(土)2回公演,13(日)2回公演

穂の国とよはし芸術劇場PLATホール

大人自由席 2500円、連絡先:これから出版 0532-47-0509 (事務局)

[138-62-02]

【その他の資料】

[138-63-01] 「地方史情報」127(2015.12)、図書目録(2015) 岩田書院 (事務局)

[138-63-02] 「鉄道がつくった日本の近代」高階秀爾共著 成山堂書店 (事務局)

7. 出版広報事業

[138-71-01] インターネット <http://csih.sakura.ne.jp/> 左記です。一度ご覧下さい。

[138-71-02] 中部産業遺産研究会の本

8. 委員会、役員会、研究分科会

[138-81-01] 幹事会・役員会等 (事務局)

2015年度(平成27年度)

- ・第1回幹事会 2015/06/16 (メール) 研究会の旗(ロゴマーク)の制作について
- ・第2回幹事会 2015/08/6 (メール) 研究会の旗(ロゴマーク)の制作について
- ・第3回幹事会 2015/08/6 (メール) 会計簿開示について
- ・第4回幹事会 2015/09/22 (メール) 会計簿開示について、旗の制作延期、会員の退会
- ・第5回幹事会 2015/10/27 (メール) 幹事会の日時、会場の案内
- ・第6回幹事会 2015/11/21 名城大学名駅サテライト 総会準備
- ・
- ・第1回役員会 2015/10/22 (メール) 役員会の日時、会場の案内
- ・第2回役員会 2015/12/13 名城大学名駅サテライト 総会準備
- ・第3回幹事会・役員会合同会議 2016/04/29 会場未定 総会準備

[138-81-02] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 実行委員会

- ・第1回 2015/03/22(日) 10:00～ 大同大学滝春校舎本館 14F 交流会室
- ・第2回 2015/5/17(日)10:00～ 名城大学 名駅サテライト
- ・第3回 2015/7/12(日)10:00～ 名城大学 名駅サテライト
- ・第4回 2015/11/22(日)10:00～ 名古屋都市センター

[138-81-03] 第11回2015年度パネル展「東海の絹・文化と産業遺産」勉強会

- ・第1回 2015/02/08(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第2回 2015/04/12(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第3回 2015/06/14(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第4回 2015/08/9(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第5回 2015/10/11(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F

[138-81-04] 第12回2016年度パネル展「東海の綿織物・毛織物と産業遺産」(仮)勉強会

- ・第1回 2015/02/07(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F

[138-81-04] 研究誌『産業遺産研究第 23 号』編集委員会

- ・必要に応じて電子メールや電話にて開催

## 9. 総務・事務局関係

[138-91-01] 研究会スケジュール、関連団体スケジュール、他

- ・第 138 回例会 2016/01/24(日) 13:00～名城大学 名駅サテライト 会議室
- ・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 34 回 2016/02/21(日) 13:00～  
トヨタ産業技術記念館
- ・第 139 回例会 2016/03/20(日) 13:00～緑生涯学習センター 第 2 / 3 集会室
- ・産業考古学会第 40 回総会(2016 年) 2016/05/21-22 横浜みなと博物館日本丸訓練センター
- ・第 24 回(2016 年度)総会・第 140 回例会 2016/05/29(日) 13:00～  
大同大学滝春校舎本館 14F 交流会室
- ・第 141 回例会 2016/07/24or31(日) 13:00～ 未定
- ・第 142 回例会/見学会 2016/09/25(日) 13:00～ 新美南吉生家、半田赤レンガ建物(旧カブトビール工場)、旧中埜家住宅を予定(詳細は 3 月例会で)
- ・第 143 回例会/パネル展講演会 2016/11/27(日) 13:00～ 名古屋市都市センター予定(申し込み)

[138-91-02] 会員異動( )内は入会・退会の日 2015. 12. 31 現在会員数 130 名(前年度+4)

- ・入会:野村 千春(2015/11/22) 一宮市、興味関心:糸結び、安江 篤志(2015/11/22) 瀬戸市、林久美子(2015/12/25) 岡谷蚕糸博物館学芸員、興味関心:蚕糸業全般、染織技術全般
- ・退会:高橋 進(2015/8/21)、山本信雄(2015/9/22) 逝去、

## 17:00 終了

新年懇親会兼ねて浅野伸一さん博士号取得お祝いの会 担当:寺澤安正

日時:平成 28 年 1 月 24 日(日)、17:00～18:30

場所:バカナル(名城大学サテライトの地下にあるレストラン 10 名前後なら別室利用)

会費:3,000 円程度

参考:浅野伸一氏の取得博士号について

取得大学・教授名古屋大学文化部、羽賀祥二教授、種類(専攻分野) 博士(歴史学)

論文テーマ:近代日本の形成と電力業～名古屋地域における近代的電力業の成立～